



しんごうがあおでもよくみる みぎひだり
～埼玉小・自転車安全教室～

子どもでも自転車に乗れば社会人。多くの危険が潜む道路では、「子どもだから」という甘えは禁物です。交通ルールを体験しながら学んでもらうための自転車安全教室が9月28日に開催されました。

この教室は、埼玉小学校が那須ブライゼンの協力を得て開いているもので、例年教習コースは黒磯南教習所が提供。自転車のプロから、実践に近い環境で交通ルールを学びました。皆さんも道路を渡るときは、一旦自転車から降り、左右の確認を忘れずに行いましょう。



お気に入りの赤い実を探して
～南保育園・リンゴ狩り～

リンゴ農家では木々の実が色づき始め、収穫の時期を迎えています。市内の多くの保育園でこの時期に行われる恒例のリンゴ狩り。10月11日に嶋内のリンゴ農家で、南保育園の年少～年長園児71人が真っ赤に熟れた実を収穫しました。「実をつかんだら木を傷つけないようにクルッと回してとってね」という先生の説明を聞き、園児たちは自分のお気に入りのリンゴを探して園内を散策。年少の笹沼柚花ちゃんは「(リンゴ狩りは)初めて。難しかったけど楽しかった」と笑顔で話してくれました。



リズムでつながるみんなの気持ち
～さくら保育園・ドラムサークル～

始めはバラバラだった音が、いつの間にか小気味いいリズムを刻み始める…。10月5日、さくら保育園で開かれたドラムサークルの時間では、そんな不思議な場面を目の当たりにしました。これは、芸術家を派遣して、自己表現やコミュニケーション能力の向上を図るもの。

今回の講師を務めたドラムサークル研究所の三原代表は、「楽器でコミュニケーションをとることで、言葉の壁を超えた場の一体感が生まれる。その感覚が子どもたちの感性を豊かにする」と話しました。



作業は効率よく 安全に
～鍋掛小・NISSANものづくりキャラバン～

「部品は作業の前に並べておくと良いと思います」「作り方をあらかじめ覚えておくと、作業が早くなると思います」。NISSANものづくりキャラバンによる出前授業が10月5日、鍋掛小学校で行われました。レゴブロックを使っての車組み立て作業では、ボディを組み立てる人やタイヤをつける人などに分かれ、グループでタイムを競争。作業を早くするために、子どもたちは多くの改善案を挙げてくれました。この日学んだことをいかし、日常生活での改善点を見つけましょう。



子育てに悩んだら行ってみよう！(12月)

育児相談

育児の不安、1人で悩まないで。お話しにきませんか。

保健師や栄養士などによる相談を行っています。お気軽にお越しください。

	とき	ところ
5日(月)	午前9時30分～11時	黒磯保健センター
12日(月)	午後1時30分～3時	西那須野保健センター

※西那須野保健センターは事前の申し込みが必要です。

母親学級

お母さんになるための準備、みんなで一緒にしましょう！

妊婦さん同士の話し合いや体験学習をします。ママ友づくりの場にもなっていますよ！

	とき	ところ
19日(月)	午後1時30分～3時	黒磯保健センター

テーマは、「産後のイメージづくりとみんなでトーク」家族の人(お父さんになる人)も、ぜひ一緒に参加してください。※予約制になりますので事前に申し込んでください。

▶予約・問い合わせ

黒磯保健センター
☎0287(63)1100
西那須野保健センター
☎0287(38)1356

赤ちゃんの生まれた家庭に絵本のプレゼント～ブックスタート事業～

赤ちゃんの生まれた全ての家庭に、絵本をプレゼントしています。これは、赤ちゃんとお母さんが絵本を介して、心をふれあう時間を届けるためです。

母子保健推進員が生後2～3カ月頃各家庭を訪問して、絵本をプレゼントします。母子保健推進員は育児に関する不安や悩みの相談に応じ、さまざまな情報提供も行っています。気軽に相談してください。

赤ちゃんへの読み聞かせにはこんないいことが！

- ・話の内容がわからなくても、絵や言葉のリズムで気持ちが通じ合う
- ・大好きな人に語りかえてもらえることは、赤ちゃんにとって、とても嬉しくて気持ちがいい
- ・赤ちゃんの嬉しそうなきぐさは、周りの大人にも新鮮な喜びや、心安らぐひと時を与えてくれる

【絵本が届いた家庭からの声】

小さな赤ちゃんに絵本を見せようとは思わなかった。これからも読んであげたい。

初めての絵本の体験。子どもがとても楽しんでビックリしました。

絵本を読んで、私もゆったりとした気持ちになれました。

今年度プレゼントしている絵本を紹介♪

『くだもの』

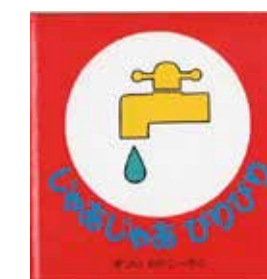
文・絵：平山 和子 福音館書店



りんご、なし、もも、いちご…丸ごとの果物からページをめくると、すぐ食べられる果物に。「さあ、どうぞ」と自然に赤ちゃんとのやりとり遊びに発展させてくれる絵本。淡い光をあてたようなふんわりとした描き方が、ただリアルなだけではないやさしい雰囲気を作っている。

『じゃあじゃあびりびり』

文・絵：まついのりこ 偕成社



赤ちゃんは、言葉自体の持つ響きやリズムを楽しむ耳を持っているという。そんな赤ちゃんの興味を存分に満たし、モノの名前と音とその形とを結び付けてくれる1冊。水は「じゃあじゃあじゃあ」、紙は「びりびりびり」。ほかに赤ちゃんの回りには音がある。この絵本はあふれている。